

ミリしら★チャレンジ

AI調査で「ぜんぜん知らない知識」の地図を高速でつくろう

NAGASAKI-KITA HIGH SCHOOL / 2nd GRADE INQUIRY

§01 今日やること

世界で起きている、普通の日本人が全然知らない事柄を、AIを使って **45分で「知ったかぶり」** できる所まで リサーチする方法を学ぶ。班ごとに気になるテーマを選んでリサーチ。

A	ケニアの「M-PESA」の普及 テクノロジー関連
B	ナイジェリア発「Afrobeats」の世界的ブーム カルチャー関連

§02 ゴール

▼ MISSION

「1ミリも知らなかった話」を、25分の調査で他人に説明できる状態にする

AIに調べてもらうのではなく、**AIと一緒にその分野の知識の「地図」を素早く作る**のが今日の課題。AIの答えをそのまま写さず、自分たちの関心にもとづいた切り口で深掘りする意識を。

§03 タイムテーブル(14:45～15:30)

END	LEN	ACTIVITY
～14:55	10分	ワークの説明・テーマ発表・進め方の確認
～15:12	17分	AIとリサーチ (問1+問2、余裕あれば問3・4)
～15:18	6分	まとめ作業 (問5+発表準備)
～15:24	6分	教室で発表(挙手又は指名・全班でなくOK)
～15:30	6分	振り返り作業&締めコメント

§04 5つの問いテンプレ(Copilotに投げる質問)

★ **プロンプト本文はTeamsに投稿してあるので、そこからコピペしてCopilotに貼り付ける。**「〇〇」のところを担当テーマ名に置き換えること。

問1**未知の分野をざっくり理解する**

全班必須 / 3分

Copilotの答えの**出典URLを1つだけクリック**して開く。AIの答えの元ネタを確かめる体験。

問2**知識の地図をつくる**

全班必須 / 班で手分け / 11～12分

3つのポイントを**班で手分けして深掘り**→班内で共有。深掘りの方向が人によって違うことを体感。

問3**共通見解 vs 議論中のポイント**

時間に余裕あれば

「事実」と「解釈・意見」の境界が見えてくる。確実な内容と議論中の内容を分けて整理。

問4**影響を受けているのは誰か**

時間に余裕あれば

ポジティブな影響と**副作用・見落とし**と**されがちな課題**の両方を、立場別に整理。

問5**さらに調べたい問いを見つける**

全班必須 / 3分

5つの**異なる切り口**(歴史・経済・文化・技術・人物など)で問いを提案させる。**「あ、これ気になる」と思った問い**を選んで、発表テンプレ末尾の空欄へ。AIから「どれを深掘りしますか?」と聞かれたら気になるものを選んで会話を続けてもOK。

❗ Copilot利用の注意	⚠ ハルシネーション注意
>> 連打しない :遅くても30秒待つ	△ 数字 (人口・金額・年号・順位・最上級)
>> 全部読まない :見出し・太字・箇条書きだけ拾う	△ 固有名詞 (人名・組織名・サービス名)
>> 出典をクリック :疑わしい内容は確認	△ 怪しい箇所は メモして後で検証
>> Bテーマ班 :「Afrobeats」と s付き で検索	△ Copilotに「 出典がはっきりしないものは? 」と聞き返すもあり

§05 発表テンプレ(2分)

班内で1人が話す。残りはサポート。

REQUIRED

私たちが調べたテーマは「 _____ 」です。

これがどんな話か、聞いたことがない人にも伝わるように3行ぐらいで説明します:

一番「えっ!？」と驚いたのは、「 _____ 」ということでした。

さらに調べるなら、私たちは「 _____ 」という問いを深めてみたいです。

OPTIONAL

大事だと感じたポイントとその理由:

どんな良い影響が起きていたか:

副作用や見落とされがちな課題はあったか:

§06 振り返り

1. 今日の調査で一番「おもしろい」と思った事実は何？

/ 空欄でもOK

2. AIの答えで「これ本当か?」と引っかかった箇所は?

/ 空欄でもOK

3. 今日のワークで気づいた、AIで未知分野を調べるコツや注意点は?

/ 空欄でもOK

§07 今日のメッセージ

－ AI時代の探究は、地図を描くところから始まる。

AIの答えをそのまま写すと、誰が聞いても同じような解答になるので面白くない(≒関心を持たれない)。まずAIで **自分だけのオリジナルの知識の地図** をつくり、自分の関心をベースに **問い** を重ねて、ユニークな問いを探る。そして独自の調査と問いから生まれた仮説を実際の社会で確かめる。今日やったのは「AIに答えを聞く」方法ではありません。未知の分野を素早く理解するために **知識の地図を、AIと短時間で作る** 方法です。

どこかで見たことのあるアニメはつまらない。それと同じで、**AIですぐ出てくるような探究プロジェクトもつまらない**。みなさんならではの個性を出すために、**AIを道具として意識的に使っていこう**。

つまり、**AI時代に大事になるのは:**

01 問い(≒目標)の独自性	02 アプローチの独自性	03 実際の形にできたか
-----------------------	---------------------	---------------------

この3つです。

これらを磨いていくために、**書籍調査・ネット検索・AI調査・インタビュー**などを駆使し、調査を深めていきましょう。(もちろん楽しみながら。)

CLASS / GROUP

NAME